

モロッコ

2022年10月4日
海外調査部・ラバト事務所

2021年のモロッコの実質GDP成長率は、前年の新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な落ち込みの反動で、前年比7.9%となった。農業生産や、自動車など工業生産の回復が後押しした。貿易額は輸出入とも前年比で拡大した。世界的な需要増加を受けリン肥料は前年比56.9%増、自動車は生産拡大で34.2%増となった。2022年4月には「日・モロッコ投資協定」および「日・モロッコ租税条約」が発効した。自動車部品製造をはじめ既に70社近い日系企業がモロッコに進出しており、各種投資環境の整備により両国ビジネスの一層の深化・拡大が期待される。

■農業生産の回復などでGDPは前年比大幅プラス成長

2021年の実質GDP成長率は前年比7.9%となり、2020年のマイナス7.2%から大幅に改善した。産業別では、農業生産は前年、降雨量が少なく生産量が落ち込んだが、2021年は天候に恵まれ17.8%増となった。また、前年に減産していた自動車生産が回復した。自動車や電子部品、衣料品を含む工業生産は6.1%増（前年7.4%減）となり改善に寄与した。モロッコ政府は新型コロナ対策のため、2020年3月20日から「衛生緊急事態」を発令し、2021年11月～2022年2月まで国内移動制限にとどまらず国際旅客便の運航を停止するなどの措置を取ってきたが、2021年のホテル・飲食業は31.6%増（同54.6%減）と大きく改善した。需要項目別では、民間最終消費支出は前年の7.0%減から12.2%増の大幅増となった。政府最終消費支出は前年の0.5%減から5.6%増に、総資本形成は、10.0%減から9.3%増に転じた。財貨・サービスの輸出は8.7%増、輸入は11.8%増だった。

■貿易額は輸出入ともに増加

2021年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比25.0%増の3,288億モロッコ・ディルハム（MAD）、輸入が24.7%増の5,274億MADだった。貿易赤字は1,986億MADで、前年の1,598億MADから24.3%拡大した。

輸出の品目別では、リン肥料が前年比56.9%増の462億MADで前年に続き1位となった。前年3位の自動車は、34.2%増で2位となった。前年に生産を一時停止していたフランスのルノー（ダチアブランド）とグループPSA（小型電気自動車〔EV〕含む、2021年に新会社ステランティスに経営統合）が生産を再開し、2021年のモロッコの自動車生産台数は40万3,007台で、前年比23%増とした。自動車輸出では、フランス向けが全体の48%を占める。国際自動車工業連合会（OICA）の統計によると、モロッコは2021年もアフリカ大陸における乗用車生産台数トップの座を維持した。この他、主要品目では、衣料品などが20%を超える増加を記録する一方、電気ケーブル類（ワイヤーハーネスを含む）は4.1%の小幅な増加となった。世界的な半導体不足による自動車減産のあおりを受けた形だ。

輸入の品目別では、石油製品が最大で前年比55.6%増の453億MADだった。価格上昇と輸入量増が要因だ。自動車(乗用車)は47.5%増、自動車部品(車体など)は24.9%増となった。

国別では、例年どおりスペインが輸出入とも最大の相手国となった。輸出はスペイン、フランスの2カ国で総額の約40%を占めた。スペインへの主な輸出品目は衣料品類や電子部品、輸入品目は石油製品、フランスへの主な輸出品目は自動車、電子部品、航空機部品、輸入品目は自動車だった。輸入では前年同様中国が2位を維持し、主な輸入品目は電子部品(構成比22%)、機械装置類(15%)、医薬品(8%、前年比30倍)となった。アフリカ域内向けが輸出、輸入総額に占める割合はそれぞれ8.0%、3.8%と小さかったが、前年比で21.9%増、42.1%増だった。

表1 モロッコの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万MAD、%)

	輸出(FOB)						輸入(CIF)				
	2020年		2021年				2020年		2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額		金額	構成比	伸び率		
リン肥料	(1)	29,455	46,208	14.1%	56.9%	石油製品	(1)	29,151	45,349	8.6%	55.6%
自動車	(3)	28,218	37,866	11.5%	34.2%	自動車(乗用車)	(3)	13,538	19,967	3.8%	47.5%
衣料品	(4)	23,935	30,166	9.2%	26.0%	自動車部品(車体ほか)	(2)	15,865	19,810	3.8%	24.9%
電気ケーブル類(ワイヤハーネスを含む)	(2)	28,858	30,048	9.1%	4.1%	天然ガス	(5)	11,366	16,206	3.1%	42.6%
リン酸	(5)	11,383	19,817	6.0%	74.1%	小麦	(4)	13,505	14,294	2.7%	5.8%
タコ・イカ・貝類	(7)	7,368	10,508	3.2%	42.6%	電気ケーブル類(ワイヤハーネスを含む)	(6)	9,285	10,419	2.0%	12.2%
リン鉱石	(8)	7,338	8,943	2.7%	21.9%	航空機部品	(8)	7,359	9,502	1.8%	29.1%
トマト(生鮮、冷蔵)	(6)	7,470	7,693	2.3%	3.0%	石炭および石炭製品	(9)	6,061	8,640	1.6%	42.6%
イワシ・サバ等の罐詰	(9)	6,006	5,226	1.6%	-13.0%	油脂	(10)	5,484	7,992	1.5%	45.7%
半導体デバイス	(10)	2,839	4,163	1.3%	46.6%	穀物(小麦を除く)	(7)	8,136	7,183	1.4%	-11.7%
砂糖	(11)	2,716	2,916	0.9%	7.4%	輸入電力	(11)	220	410	0.1%	86.4%
合計(その他含む)		263,089	328,846	100.0%	25.0%	合計(その他含む)		422,861	527,423	100.0%	24.7%

[注] 2020、2021年とも暫定値。品目のカッコ内は2020年順位。

[出所] モロッコ為替局

表2 モロッコの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万MAD、%)

	輸出(FOB)						輸入(CIF)				
	2020年		2021年				2020年		2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額		金額	構成比	伸び率		
スペイン	(1)	62,909	70,707	21.5%	12.4%	スペイン	(1)	64,935	82,961	15.7%	27.8%
フランス	(2)	57,523	67,063	20.4%	16.6%	中国	(2)	51,537	61,766	11.7%	19.8%
ブラジル	(5)	10,856	18,244	5.5%	68.1%	フランス	(3)	50,656	55,621	10.5%	9.8%
インド	(4)	11,299	16,243	4.9%	43.8%	米国	(4)	26,556	33,571	6.4%	26.4%
イタリア	(3)	11,587	14,023	4.3%	21.0%	トルコ	(5)	23,074	30,403	5.8%	31.8%
英国	(10)	5,378	10,762	3.3%	100.1%	イタリア	(7)	21,952	26,717	5.1%	21.7%
米国	(6)	9,369	9,912	3.0%	5.8%	ドイツ	(6)	22,367	23,145	4.4%	3.5%
ドイツ	(7)	8,571	9,664	2.9%	12.8%	ロシア	(8)	15,411	18,120	3.4%	17.6%
オランダ	(8)	8,391	8,331	2.5%	-0.7%	サウジアラビア	(10)	8,517	16,317	3.1%	91.6%
トルコ	(9)	5,711	7,192	2.2%	25.9%	ポルトガル	(9)	11,163	14,734	2.8%	32.0%
合計(その他含む)		263,089	328,846	100.0%	25.0%	合計(その他含む)		422,861	527,423	100.0%	24.7%

[注] 2020、2021年とも暫定値。国名のカッコ内は2020年順位。

[出所] モロッコ為替局

■対内直接投資額は22.7%増、フランスが最大投資国

為替局によると、2021年の対内直接投資額(報告・届け出ベース、フロー)は319億1,000万MAD、前年比22.7%増となった。業種別では、自動車など製造業が最大となり88億1,800万MAD(構成比27.6%、11.6%増)、次いで不動産が66億400万MAD(20.7%、14.5%増)となった。前年に続き2業種で対内直接投資の約5割を占めた。

国別では、フランスが例年どおり最大の対モロッコ投資国で、投資額は95億600万MAD(構成比29.8%、前年比19.6%増)、次いでアラブ首長国連邦が43億2,000万MAD(13.5%、50.1%増)となった。アジアでは日本からの投資が1,900万MAD(前年比で10倍)、中国が1億100万MAD(74.3%減)、韓国が1,100万MAD(91.7%減)だった。

モロッコの対外直接投資は181億5,600万MADとなり、前年比2.4倍となった。投資先はフランスが1位で前年比14倍、次いでコートジボワール、エジプト、米国、ナイジェリア、セネガルと続く。業種別では、主に自動車など製造業、銀行等金融、通信やエネルギー資源が中心で、投資総額の92.8%を占める。モロッコ政府はアフリカ域内連携の促進に努めており、特に西アフリカ地域向け活動が軸だ。アフリカ地域向け貿易港整備計画や、天然ガスの安定的確保のためナイジェリアからの調達を模索する動きがみられる。

■日・モロッコ間で投資協定と租税条約が発効、ビジネス交流拡大に期待

日本の貿易統計（通関ベース）によれば、2021年の対モロッコ貿易は、輸出が前年比1.2%増の2億2,718万ドル、輸入が19.4%増の3億5,686万ドルだった。日本の対モロッコ貿易は1億2,968万ドルの輸入超過で赤字が前年比74.2%拡大した。日本の最大の輸出品目は自動車（乗用車、バス・トラック）（構成比30.6%、前年比4.8%増）、次いで電気回路などの機器（8.9%、15.1%増）だった。輸入では、食料品（主に魚介類）（61.0%、18.5%増）、次いで衣類・同付属品（16.0%、27.5%増）と続いた。

2022年4月に「日・モロッコ投資協定」と「日・モロッコ租税条約」が発効し、投資環境の整備が進められている。モロッコは欧州製造業向けの部品供給拠点と位置付けられており、矢崎総業が2021～2026年に、国内に3カ所ある工場（メクネス、ケニトラ、タンジェ）に合計で7億5,100万MADを投資し、ワイヤーハーネスなど自動車部品関連品製造の生産拡大を計画、6,300人を新規に雇用する見込みだ。また三井物産はモロッコを代表する養鶏業のインテグレーション事業者であるザラル・ホールディングに対して追加投資を行った（2022年6月）。鶏肉関連品で国内外でのビジネス拡大を目指している。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：3,631万人（2021年）			
②面積：44万6,550km ²			
③1人当たりGDP：3,620米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	2.9	△7.2	7.9
⑤消費者物価上昇率（%）	0.2	0.7	1.4
⑥失業率（%）	9.2	11.9	12.3
⑦貿易収支（100万モロッコ・ディルハム）	△192,414	△147,185	△178,781
⑧経常収支（100万モロッコ・ディルハム）	△47,317	△15,987	△29,148
⑨外貨準備高（グロス）（100万モロッコ・ディルハム）	25,330	34,653	34,354
⑩対外債務残高（グロス）（100万モロッコ・ディルハム）	502,175	575,755	582,338
⑪為替レート（1米ドルにつき、モロッコ・ディルハム期中平均）	9.6	9.5	9.0

〔出所〕①④～⑥：モロッコ高等計画委員会、②：世界銀行、③⑨⑩：IMF、⑦⑧：モロッコ為替局、⑩：モロッコ経済・財政省

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp